

0001

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：基礎

問題：私は毎朝七時【 】家を出ます。

ア：に
イ：で
ウ：を
エ：へ

答え・解説

正答：ア

ア：○「に」が適切です。時刻「七時」を動作の時点として示す必要があります。

イ：×「で」は動作の場所・手段・材料などを示します。時刻「七時」を動作の時点として示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「を」は動作の直接の対象を示します。時刻「七時」を動作の時点として示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「へ」は方向を示します。時刻「七時」を動作の時点として示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：具体的な時刻には助詞「に」を使うのが基本です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0002

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：基礎

問題：図書館【 】日本語の本を借りました。

ア：に
イ：で
ウ：を
エ：まで

答え・解説

正答：イ

ア：×「に」は時点・到着点・存在場所・相手などを示します。本を借りるという動作が行われる場所を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「で」が適切です。本を借りるという動作が行われる場所を示す必要があります。

ウ：×「を」は動作の直接の対象を示します。本を借りるという動作が行われる場所を示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「まで」は範囲の終点を表しますが、「本を借りる」という動作の場所を示せません。

総合解説：動作の場所には「で」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0003

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：基礎

問題：来月、友だち【 】大阪へ旅行します。

ア：を
イ：に
ウ：と
エ：で

答え・解説

正答：ウ

ア：×「を」は動作の直接の対象を示します。一緒に行動する相手を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「に」は時点・到着点・存在場所・相手などを示します。一緒に行動する相手を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「と」が適切です。一緒に行動する相手を示す必要があります。

エ：×「で」は動作の場所・手段・材料などを示します。一緒に行動する相手を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：共同者は「友だちと」のように「と」で示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0004

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：基礎

問題：机の上【 】辞書があります。

ア：で
イ：を
ウ：から
エ：に

答え・解説

正答：エ

ア：×「で」は動作の場所・手段・材料などを示します。存在する場所を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「を」は動作の直接の対象を示します。存在する場所を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「から」は起点を表しますが、存在場所を示す「あります」とはこの形で結びつきません。

エ：○「に」が適切です。存在する場所を示す必要があります。

総合解説：「あります・います」で存在場所を示すときは「に」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0005

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：基礎

問題：毎日、駅【 】歩いて会社へ行きます。

ア：まで
イ：から
ウ：より
エ：だけ

答え・解説

正答：ア

ア：○「まで」が適切です。歩く範囲の終点を示す必要があります。

イ：×「から」は起点・理由などを示します。歩く範囲の終点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「より」は比較の基準を示します。歩く範囲の終点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「だけ」は限定を示します。歩く範囲の終点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：移動の終点・範囲の終わりには「まで」を使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0006

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：この電車は東京【 】来ました。

ア：まで
イ：から
ウ：より
エ：で

答え・解説

正答：イ

ア：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。電車が出発した起点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「から」が適切です。電車が出発した起点を示す必要があります。

ウ：×「より」は比較の基準を示します。電車が出発した起点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「で」は動作の場所・手段・材料などを示します。電車が出発した起点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：起点には「から」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0007

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：私は母【 】花をあげました。

ア：が

イ：で

ウ：に

エ：を

答え・解説

正答：ウ

ア：×「が」は主語・新情報などを示します。花を受け取る相手を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「で」は動作の場所・手段・材料などを示します。花を受け取る相手を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「に」が適切です。花を受け取る相手を示す必要があります。

エ：×「を」は動作の直接の対象を示します。花を受け取る相手を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：授受で受け手を示すとき「母に花をあげる」と言います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0008

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：田中さんは日本語【 】上手です。

ア：を

イ：に

ウ：へ

エ：が

答え・解説

正答：エ

ア：×「を」は動作の直接の対象を示します。能力・得意分野を「上手です」と結びつける必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「に」は時点・到着点・存在場所・相手などを示します。能力・得意分野を「上手です」と結びつける必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「へ」は方向を表し、「上手です」と結びつける能力の対象には使いません。

エ：○「が」が適切です。能力・得意分野を「上手です」と結びつける必要があります。

総合解説：「～が上手です」は能力・得意分野を表す基本形です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0009

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：日曜日はどこ【 】行きませんでした。

ア：にも
イ：を
ウ：で
エ：から

答え・解説

正答：ア

ア：○「にも」が適切です。否定文で「どこにも～ない」という全面否定を作る必要があります。

イ：×「を」は動作の直接の対象を示します。否定文で「どこにも～ない」という全面否定を作る必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「で」は動作の場所・手段・材料などを示します。否定文で「どこにも～ない」という全面否定を作る必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「から」は起点・理由などを示します。否定文で「どこにも～ない」という全面否定を作る必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「どこにも行きません」は「どの場所にも行かない」という意味です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0010

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：このりんごは三つ【 】五百円です。

ア：に
イ：で
ウ：を
エ：だけ

答え・解説

正答：イ

ア：×「に」は時点・到着点・存在場所・相手などを示します。数量をひとまとまりの条件として価格と結びつける必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「で」が適切です。数量をひとまとまりの条件として価格と結びつける必要があります。

ウ：×「を」は動作の直接の対象を示します。数量をひとまとまりの条件として価格と結びつける必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「だけ」は限定を表しますが、「三つだけ五百円です」という形では価格の単位・まとまりを自然に示せません。

総合解説：数量＋「で」で、まとまり・範囲を示すことがあります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0011

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：妹は私【 】背が高いです。

ア：まで

イ：から

ウ：より

エ：しか

答え・解説

正答：ウ

ア：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。比較の基準として「私」を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「から」は起点・理由などを示します。比較の基準として「私」を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「より」が適切です。比較の基準として「私」を示す必要があります。

エ：×「しか」は否定形と組み合わせる限定表現で、この肯定文の比較には使えません。

総合解説：比較基準には「より」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0012

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：私は水も飲みます。コーヒー【 】飲みます。

ア：しか

イ：まで

ウ：から

エ：も

答え・解説

正答：エ

ア：×「しか」は否定形と組み合わせる限定表現なので、この肯定文には使えません。

イ：×「まで」は範囲の終点などを示し、追加の意味にはなりません。

ウ：×「から」は起点・理由などを示し、この文の追加関係には合いません。

エ：○「も」は追加を表します。この文では、ほかの飲み物に加えてコーヒーも飲むことを示します。

総合解説：「も」は『それに加えて』という追加を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0013

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：この部屋には机【 】ありません。

ア：しか
イ：だけ
ウ：も
エ：まで

答え・解説

正答：ア

ア：○「しか」が適切です。「机以外はない」という限定を否定形と組み合わせて表す必要があります。
イ：×「だけ」は限定を示します。「机以外はない」という限定を否定形と組み合わせて表す必要があります。
このため、この文には合いません。
ウ：×「も」は追加・同類を示します。「机以外はない」という限定を否定形と組み合わせて表す必要があります。
このため、この文には合いません。
エ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。「机以外はない」という限定を否定形と組み合わせて表す必要があります。
このため、この文には合いません。
総合解説：「しか～ない」は強い限定を表します。
対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0014

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：先生【 】聞いた話では、来週テストがあるそうです。

ア：まで
イ：から
ウ：より
エ：を

答え・解説

正答：イ

ア：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。情報を得た相手・出所を示す必要があります。このため、この文には合いません。
イ：○「から」が適切です。情報を得た相手・出所を示す必要があります。
ウ：×「より」は比較の基準を示します。情報を得た相手・出所を示す必要があります。このため、この文には合いません。
エ：×「を」は動作の直接の対象を示します。情報を得た相手・出所を示す必要があります。このため、この文には合いません。
総合解説：情報の出所を「先生から聞いた」と表します。
対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0015

文の文法1：文法形式の判断 > 助詞 | 難易度：標準

問題：日本へ来て【 】, 毎日日本語を使っています。

ア：まで

イ：より

ウ：から

エ：あとで

答え・解説

正答：ウ

ア：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。「来た後、その時点以降」という起点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「より」は比較の基準を示します。「来た後、その時点以降」という起点を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「から」が適切です。「来た後、その時点以降」という起点を示す必要があります。

エ：×「来てあとで」という形は不自然です。動作の後を表すなら「来たあとで」の形が必要です。

総合解説：「Vてから」は、ある動作の後に次の動作・状態が続くことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0016

文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：基礎

問題：今、弟は部屋で宿題を【 】。

ア：しました

イ：します

ウ：しませんでした

エ：しています

答え・解説

正答：エ

ア：×「しました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。「今」とあるため、現在進行中の動作を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「します」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。「今」とあるため、現在進行中の動作を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「しませんでした」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。「今」とあるため、現在進行中の動作を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「しています」が適切です。「今」とあるため、現在進行中の動作を表す必要があります。

総合解説：動作の進行は「Vています」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0017 文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：基礎

問題：昨日は雨が【 】。

ア：降りました

イ：降ります

ウ：降っています

エ：降りません

答え・解説

正答：ア

ア：○「降りました」が適切です。「昨日」という過去時点の出来事を表す必要があります。

イ：×「降ります」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。「昨日」という過去時点の出来事を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「降っています」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。「昨日」という過去時点の出来事を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「降りません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。「昨日」という過去時点の出来事を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：過去の出来事は丁寧体で「Vました」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0018 文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：基礎

問題：毎朝六時に【 】。

ア：起きました

イ：起きます

ウ：起きています

エ：起きませんでした

答え・解説

正答：イ

ア：×「起きました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。毎日の習慣なので非過去形を使う必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「起きます」が適切です。毎日の習慣なので非過去形を使う必要があります。

ウ：×「起きています」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。毎日の習慣なので非過去形を使う必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「起きませんでした」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。毎日の習慣なので非過去形を使う必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：習慣的な動作には非過去形「Vます」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0019 文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：基礎

問題：先週は忙しくて、映画を【 】。

ア：見ません

イ：見ます

ウ：見ませんでした

エ：見えています

答え・解説

正答：ウ

ア：×「見ません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の否定を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「見ます」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の否定を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「見ませんでした」が適切です。過去の否定を表す必要があります。

エ：×「見えています」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の否定を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：丁寧体の過去否定は「Vませんでした」です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0020 文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：電話したとき、母は料理を【 】。

ア：します

イ：しました

ウ：しません

エ：していました

答え・解説

正答：エ

ア：×「します」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去のある時点で進行中だった動作を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「しました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去のある時点で進行中だった動作を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「しません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去のある時点で進行中だった動作を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「していました」が適切です。過去のある時点で進行中だった動作を表す必要があります。

総合解説：過去進行は「Vていました」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0021 文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：私は北海道へ二回行った【 】。

ア：ことがあります

イ：ところです

ウ：ばかりです

エ：ことになります

答え・解説

正答：ア

ア：○「ことがあります」が適切です。過去の経験を表す必要があります。

イ：×「ところです」は動作の直前・最中・直後などを、接続形によって表します。過去の経験を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「ばかりです」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の経験を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「ことになります」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の経験を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：経験は「Vたことがあります」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0022 文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：さっき昼ご飯を食べた【 】なので、まだお腹がいっぱいです。

ア：こと

イ：ばかり

ウ：つもり

エ：よう

答え・解説

正答：イ

ア：×「Vたこと」は経験表現などの一部になりますが、この後の「なので」だけでは『食べた直後』を表せません。

イ：○「Vたばかり」は、動作が終わってからあまり時間が経っていないことを表します。

ウ：×「Vたつもり」は『実際とは別に、したと考える』などの意味になり、食後すぐという文脈に合いません。

エ：×「Vたよう」はこの形だけでは、食べ終わった直後を表す表現になりません。

総合解説：「さっき」と「まだお腹がいっぱい」という文脈から、完了直後の「Vたばかり」が最適です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0023

文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：私は今、玄関で靴をはき終わりました。これから出かける【 】です。

ア：ばかり

イ：こと

ウ：ところ

エ：よう

答え・解説

正答：ウ

ア：×「出かけるばかりです」は『あとは出かけるだけ』のような別の意味になり、直前を示す標準表現としては合いません。

イ：×「出かけることです」は、この文では名詞化した内容を説明する形にならず不自然です。

ウ：○「V辞書形＋ところです」は、これからその動作を始める直前であることを表します。

エ：×「出かけるようです」は第三者についての推量などに使えますが、話し手自身の直前動作を示すこの文脈には合いません。

総合解説：靴をはき終わり『これから出かける』という直前の場面なので「ところです」が最適です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0024

文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：田中さんに電話をかけましたが、通話中でした。田中さんは今、別の人と電話で話している【 】です。

ア：前

イ：あと

ウ：こと

エ：ところ

答え・解説

正答：エ

ア：×「話している前です」は時を表す形として不自然です。「話す前です」なら成立します。

イ：×「話しているあとです」は時を表す形として不自然です。「話したあとです」なら成立します。

ウ：×「話していることです」は事柄を名詞化する形で、通話中という進行場面の説明にはなりません。

エ：○「Vているところです」は、今まさに動作の最中であることを表します。

総合解説：『通話中』『今』という手がかりから、動作の最中を表す「Vているところです」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0025 文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：会議はちょうど終わった【 】です。

- ア：ところ
イ：つもり
ウ：こと
エ：よう

答え・解説

正答：ア

ア：○「ところ」が適切です。今まさに終わった直後を表す必要があります。

イ：×「つもり」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。今まさに終わった直後を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「こと」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。今まさに終わった直後を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「よう」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。今まさに終わった直後を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vたところです」は、動作が終わった直後を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0026 文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：毎日練習して、漢字が少し読める【 】。

- ア：ことになりました
イ：ようになりました
ウ：つもりです
エ：ところです

答え・解説

正答：イ

ア：×「ことになりました」は自分だけの意志ではなく、決定・事情によってそうなったことを表します。能力が以前から変化したことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「ようになりました」が適切です。能力が以前から変化したことを表す必要があります。

ウ：×「つもりです」は話し手の予定・意志を表します。能力が以前から変化したことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「ところです」は動作の直前・最中・直後などを、接続形によって表します。能力が以前から変化したことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「V可能形＋ようになる」は能力の変化を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0027 文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：会社の決定で、来月から大阪の支店で働く【 】。

ア：ようになりました

イ：ばかりです

ウ：ことになりました

エ：ところです

答え・解説

正答：ウ

ア：×「ようになりました」は習慣・能力・状態の変化を表すため、『会社の決定』という文脈には合いません。

イ：×「働くばかりです」は『働くだけだ』など別の意味になり、決定を表しません。

ウ：○「ことになりました」は、自分だけの意志ではなく外部の決定によって決まったことを表します。

エ：×「働くところです」は今まさに働き始める直前を表し、来月からの会社決定とは合いません。

総合解説：「会社の決定で」が明示されているため、外部決定を表す「ことになりました」が最適です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0028 文の文法1：文法形式の判断＞活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：この町に住んでから、毎朝散歩する【 】。

ア：ことがあります

イ：ばかりです

ウ：ところです

エ：ようになりました

答え・解説

正答：エ

ア：×「ことがあります」は時々起こることを表します。新しい習慣が身についた変化を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ばかりです」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。新しい習慣が身についた変化を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「ところです」は動作の直前・最中・直後などを、接続形によって表します。新しい習慣が身についた変化を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「ようになりました」が適切です。新しい習慣が身についた変化を表す必要があります。

総合解説：習慣の変化にも「V辞書形＋ようになる」を使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0029

文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：子どもころ、よくこの公園で【 】。

ア：遊びました

イ：遊びます

ウ：遊んでいます

エ：遊びません

答え・解説

正答：ア

ア：○「遊びました」が適切です。過去の習慣・出来事を述べる必要があります。

イ：×「遊びます」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の習慣・出来事を述べる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「遊んでいます」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の習慣・出来事を述べる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「遊びません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。過去の習慣・出来事を述べる必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：過去の習慣的行為も文脈に応じて「Vました」で表せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0030

文の文法1：文法形式の判断 > 活用・時制・アスペクト | 難易度：標準

問題：駅に着いたとき、電車はもう【 】。

ア：出ます

イ：出ていました

ウ：出ました

エ：出ています

答え・解説

正答：イ

ア：×「出ます」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。駅に着くより前に電車が出て、その結果として不在だったことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「出ていました」が適切です。駅に着くより前に電車が出て、その結果として不在だったことを表す必要があります。

ウ：×「出ました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。駅に着くより前に電車が出て、その結果として不在だったことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「出ています」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。駅に着くより前に電車が出て、その結果として不在だったことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：過去のある時点ですでに成立していた結果状態は「Vていました」で表せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0031

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：基礎

問題：雨が降っている【 】、傘を持って行きます。

ア：ながら

イ：まで

ウ：ので

エ：しか

答え・解説

正答：ウ

ア：×「降っているながら」は接続形が不適切です。

イ：×「まで」は範囲の終点を示す助詞で、理由節を作りません。

ウ：○「ので」は、雨が降っていることを傘を持つ理由として示します。

エ：×「しか」は否定形と組み合わせる限定表現で、この文には合いません。

総合解説：原因・理由を自然に示す「ので」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0032

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：基礎

問題：時間がない【 】、タクシーで行きましょう。

ア：まで

イ：しか

ウ：ながら

エ：から

答え・解説

正答：エ

ア：×「まで」は終点・範囲を示し、理由を作りません。

イ：×「しか」は否定形と組み合わせる限定表現です。

ウ：×「ないながら」という形では、この文の理由関係を作れません。

エ：○「から」は、時間がないことをタクシー利用の理由として示します。

総合解説：後件が「～ましょう」という話し手の提案なので、理由の「から」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0033

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：基礎

問題：日本語を勉強する【 】、日本へ来ました。

ア：ために

イ：まで

ウ：しか

エ：ながら

答え・解説

正答：ア

ア：○「V辞書形＋ために」は、意志的な行為の目的を表します。

イ：×「まで」は範囲・終点を示し、来日の目的を表せません。

ウ：×「しか」は否定形と組み合わせる限定表現です。

エ：×「勉強するながら」は接続が不適切です。

総合解説：日本へ来た目的が日本語学習なので「勉強するために」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0034

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：忘れない【 】、メモしてください。

ア：ので

イ：ように

ウ：まで

エ：ながら

答え・解説

正答：イ

ア：×「忘れないので」は『忘れないから』という理由になり、メモする目的と逆です。

イ：○「忘れないように」は、『忘れない状態』を目標としてメモすることを表します。

ウ：×「まで」は目的を表せません。

エ：×「忘れないながら」は接続・意味とも不自然です。

総合解説：否定形「忘れない」を目標にする場合「ように」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0035

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：もし時間があつ【 】、一緒に映画を見ませんか。

- ア：ので
イ：まで
ウ：たら
エ：しか

答え・解説

正答：ウ

ア：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。仮定条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。仮定条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「たら」が適切です。仮定条件を示す必要があります。

エ：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。仮定条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「たら」は具体的な仮定条件に広く使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0036

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：京都へ行く【 】、秋がおすすめです。

- ア：まで
イ：しか
ウ：ながら
エ：なら

答え・解説

正答：エ

ア：×「まで」は範囲の終点を示します。

イ：×「しか」は否定と組み合わせる限定表現です。

ウ：×「行くながら」は接続が不適切です。

エ：○「なら」は『京都へ行く』という前提を受け、それに対する助言を示します。

総合解説：前提を受けておすすめを述べるので「なら」が最適です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0037

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：春になる【 】、この公園では桜が咲きます。

ア：と

イ：まで

ウ：しか

エ：ながら

答え・解説

正答：ア

ア：○「春になると」は、春になれば毎年自然に桜が咲くという一般的な関係を表します。

イ：×「まで」は終点を示し、一般条件を作りません。

ウ：×「しか」は限定表現で、後ろに否定が必要です。

エ：×「なるながら」は接続が不適切です。

総合解説：自然現象などの恒常的な条件と結果には「と」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0038

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：安けれ【 】、このかばんを買いたいです。

ア：ので

イ：ば

ウ：まで

エ：だけ

答え・解説

正答：イ

ア：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。形容詞の仮定条件を作る必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「ば」が適切です。形容詞の仮定条件を作る必要があります。

ウ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。形容詞の仮定条件を作る必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「だけ」は限定を示します。形容詞の仮定条件を作る必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：イ形容詞の仮定形は「安ければ」の形です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0039

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：健康の【 】、毎日三十分歩いています。

ア：ように

イ：ので

ウ：ために

エ：なら

答え・解説

正答：ウ

ア：×「ように」は能力・状態の実現を目標にする場合などに使います。名詞「健康」を目的として示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。名詞「健康」を目的として示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「ために」が適切です。名詞「健康」を目的として示す必要があります。

エ：×「なら」は前提・話題を受けた条件を表します。名詞「健康」を目的として示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Nのために」で目的を表せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0040

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：標準

問題：電車で遅れない【 】、早く家を出ました。

ア：まで

イ：ながら

ウ：しか

エ：ように

答え・解説

正答：エ

ア：×「まで」は終点を表し、目的を作りません。

イ：×「遅れないながら」は接続・意味とも不自然です。

ウ：×「しか」は否定と組み合わせる限定表現です。

エ：○「遅れないように」は、『遅れない』ことを目標として早く出たことを表します。

総合解説：『遅れない』という望ましい状態を目標にするので「ように」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0041

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：基礎

問題：分からないことがあつ【 】、先生に聞いてください。

ア：たら
イ：ので
ウ：まで
エ：でも

答え・解説

正答：ア

ア：○「たら」が適切です。将来起こる可能性のある条件を示す必要があります。

イ：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。将来起こる可能性のある条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。将来起こる可能性のある条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「でも」は例示・譲歩などを表します。将来起こる可能性のある条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「～たら」で、その条件が成立した場合の行動を示せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0042

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：基礎

問題：薬を飲ん【 】、熱が下がりません。

ア：ので
イ：でも
ウ：から
エ：なら

答え・解説

正答：イ

ア：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。期待に反して結果が変わらないという譲歩条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「でも」が適切です。期待に反して結果が変わらないという譲歩条件を示す必要があります。

ウ：×「から」は起点・理由などを示します。期待に反して結果が変わらないという譲歩条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「なら」は前提・話題を受けた条件を表します。期待に反して結果が変わらないという譲歩条件を示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vても」は「たとえ～しても」の意味を表せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0043

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：基礎

問題：このボタンを押す【 】、ドアが開きます。

ア：だけ

イ：しか

ウ：と

エ：ながら

答え・解説

正答：ウ

ア：×「だけ」は限定を表しますが、「押すだけ、ドアが開きます」という接続では、この空欄に必要な条件表現になりません。

イ：×「しか」は限定表現で、この肯定文には合いません。

ウ：○「押すと」は、ボタン操作によって自動的にドアが開くという条件・結果を表します。

エ：×「押すながら」は接続が不適切です。

総合解説：機械操作のように一定条件で自動的に起こる結果には「と」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0044

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：応用

問題：もっと大きい部屋が必要【 】、受付に相談してください。

ア：ので

イ：まで

ウ：しか

エ：なら

答え・解説

正答：エ

ア：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。「必要だ」という条件・前提を受けて助言する必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。「必要だ」という条件・前提を受けて助言する必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。「必要だ」という条件・前提を受けて助言する必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「なら」が適切です。「必要だ」という条件・前提を受けて助言する必要があります。

総合解説：ナ形容詞・名詞的述語の条件には「なら」を使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0045

文の文法1：文法形式の判断 > 条件・理由・目的 | 難易度：応用

問題：明日晴れれ【 】、公園でお弁当を食べましょう。

ア：ば

イ：から

ウ：ので

エ：まで

答え・解説

正答：ア

ア：○「ば」が適切です。天気を仮定条件として勧誘につなげる必要があります。

イ：×「から」は起点・理由などを示します。天気を仮定条件として勧誘につなげる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「ので」は原因・理由を比較的客観的に示します。天気を仮定条件として勧誘につなげる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。天気を仮定条件として勧誘につなげる必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「晴れれば」は動詞「晴れる」の仮定形です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0046

文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：基礎

問題：空が暗いですね。もうすぐ雨が降る【 】。

ア：たいです

イ：でしょう

ウ：ましょう

エ：なければなりません

答え・解説

正答：イ

ア：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。状況から未来を推量する必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「でしょう」が適切です。状況から未来を推量する必要があります。

ウ：×「ましょう」は勧誘・申し出を表します。状況から未来を推量する必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「なければなりません」は義務・必要を表します。状況から未来を推量する必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「でしょう」は話し手の推量を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0047

文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：基礎

問題：田中さんはまだ来ません。道に迷った【 】。

ア：てもいいです

イ：たいです

ウ：かもしれません

エ：ましょう

答え・解説

正答：ウ

ア：×「てもいいです」は許可を表します。可能性の一つとして推量する必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。可能性の一つとして推量する必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「かもしれません」が適切です。可能性の一つとして推量する必要があります。

エ：×「ましょう」は勧誘・申し出を表します。可能性の一つとして推量する必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：確実ではない可能性を述べるとき「かもしれません」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0048

文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：基礎

問題：私は来年、日本へ留学し【 】。

ア：でしょう

イ：てはいけません

ウ：そうです

エ：たいです

答え・解説

正答：エ

ア：×「でしょう」は推量・確認などを表します。話し手自身の希望を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「てはいけません」は禁止を表します。話し手自身の希望を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「留学しそうです」は外から見た様子・可能性の表現になり、話し手自身の希望を述べるこの文には合いません。

エ：○「たいです」が適切です。話し手自身の希望を表す必要があります。

総合解説：自分の希望は「Vます形の語幹＋たいです」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0049

文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：基礎

問題：時間がありますね。一緒にコーヒーを飲み【 】。

ア：ましょう

イ：たいです

ウ：でしょう

エ：すぎます

答え・解説

正答：ア

ア：○「ましょう」が適切です。相手を誘って一緒に行動する必要があります。

イ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。相手を誘って一緒に行動する必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「でしょう」は推量・確認などを表します。相手を誘って一緒に行動する必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「飲みすぎます」は飲む量が多すぎる意味で、一緒に飲もうと誘う表現ではありません。

総合解説：「Vましょう」は勧誘に使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0050

文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：図書館では静かにし【 】。

ア：てもいいです

イ：なければなりません

ウ：たいです

エ：かもしれません

答え・解説

正答：イ

ア：×「てもいいです」は許可を表します。守るべき義務を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「なければなりません」が適切です。守るべき義務を表す必要があります。

ウ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。守るべき義務を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「かもしれません」は可能性のある推量を表します。守るべき義務を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vなければなりません」は義務を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0051 文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：明日は休みなので、早く起き【 】。

ア：なければなりません

イ：てはいけません

ウ：なくてもいいです

エ：でしょう

答え・解説

正答：ウ

ア：×「なければなりません」は義務・必要を表します。早起きする必要があることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「てはいけません」は禁止を表します。早起きする必要があることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「なくてもいいです」が適切です。早起きする必要があることを表す必要があります。

エ：×「でしょう」は推量・確認などを表します。早起きする必要があることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vなくてもいいです」は「しなくても問題ない」という意味です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0052 文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：この部屋では写真を撮っ【 】。

ア：てはいけません

イ：なければなりません

ウ：たいです

エ：てもいいです

答え・解説

正答：エ

ア：×「てはいけません」は禁止を表します。写真撮影の許可を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「なければなりません」は義務・必要を表します。写真撮影の許可を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。写真撮影の許可を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「てもいいです」が適切です。写真撮影の許可を表す必要があります。

総合解説：「Vてもいいです」は許可を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0053

文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：ここは禁煙ですから、たばこを吸っ【 】。

ア：てはいけません

イ：てもいいです

ウ：なくてもいいです

エ：でしょう

答え・解説

正答：ア

ア：○「てはいけません」が適切です。喫煙の禁止を表す必要があります。

イ：×「てもいいです」は許可を表します。喫煙の禁止を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「なくてもいいです」は不必要・しなくても許されることを表します。喫煙の禁止を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「でしょう」は推量・確認などを表します。喫煙の禁止を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vてはいけません」は禁止を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0054

文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：少し熱があります。今日は早く寝た【 】。

ア：てもいいです

イ：ほうがいいです

ウ：かもしれません

エ：ましよう

答え・解説

正答：イ

ア：×「てもいいです」は許可を表します。相手への助言を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「ほうがいいです」が適切です。相手への助言を表す必要があります。

ウ：×「かもしれません」は可能性のある推量を表します。相手への助言を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「ましよう」は勧誘・申し出を表します。相手への助言を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vたほうがいいです」は行動を勧める表現です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0055 文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：大学を卒業したら、国へ帰ろう【 】。

ア：でしょう

イ：てもいいです

ウ：と思います

エ：なければなりません

答え・解説

正答：ウ

ア：×「でしょう」は推量・確認などを表します。話し手の意志・予定を表す「～ようと思います」を完成させる必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「てもいいです」は許可を表します。話し手の意志・予定を表す「～ようと思います」を完成させる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「と思います」が適切です。話し手の意志・予定を表す「～ようと思います」を完成させる必要があります。

エ：×「なければなりません」は義務・必要を表します。話し手の意志・予定を表す「～ようと思います」を完成させる必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：意志形＋「と思います」で意志・予定を表せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0056 文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：標準

問題：このケーキはおいしそうですね。私も食べて【 】。

ア：いけません

イ：なりません

ウ：でしょう

エ：みたいです

答え・解説

正答：エ

ア：×「いけません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。実際に試しに食べてみたいという希望を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「なりません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。実際に試しに食べてみたいという希望を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「でしょう」は推量・確認などを表します。実際に試しに食べてみたいという希望を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「みたいです」が適切です。実際に試しに食べてみたいという希望を表す必要があります。

総合解説：「Vてみたい」は試行の「Vてみる」と希望「たい」が組み合わさった形です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0057 文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：応用

問題：パスポートは大切です。なくさない【 】。

ア：ようにしてください

イ：かもしれません

ウ：でしょう

エ：てもいいです

答え・解説

正答：ア

ア：○「ようにしてください」が適切です。相手に注意・努力を促す必要があります。

イ：×「かもしれません」は可能性のある推量を表します。相手に注意・努力を促す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「でしょう」は推量・確認などを表します。相手に注意・努力を促す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「てもいいです」は許可を表します。相手に注意・努力を促す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vないようにしてください」は、そうならないよう注意を求める表現です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0058 文の文法1：文法形式の判断 > 推量・意志・義務・許可 | 難易度：応用

問題：明日の会議には必ず出席し【 】。

ア：なくてもいいです

イ：なければなりません

ウ：たいです

エ：かもしれません

答え・解説

正答：イ

ア：×「なくてもいいです」は不必要・しなくても許されることを表します。必須の参加を義務として表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「なければなりません」が適切です。必須の参加を義務として表す必要があります。

ウ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。必須の参加を義務として表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「かもしれません」は可能性のある推量を表します。必須の参加を義務として表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「必ず」と義務表現が自然に対応します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0059

文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：応用

問題：ここに荷物を置い【 】か。—はい、どうぞ。

ア：てはいけません

イ：てください

ウ：てもいいです

エ：たいです

答え・解説

正答：ウ

ア：×「てはいけません」は禁止を表します。相手に許可を求める疑問文を作る必要があります。このため、この文には合いません。

イ：× 空欄に「てください」を入れると「置いててください」のような不自然な形になり、許可を求める文になりません。

ウ：○「てもいいです」が適切です。相手に許可を求める疑問文を作る必要があります。

エ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。相手に許可を求める疑問文を作る必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vてもいいですか」は許可を求める表現です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0060

文の文法1：文法形式の判断＞推量・意志・義務・許可 | 難易度：応用

問題：週末は天気がいい【 】から、山へ行く予定です。

ア：たいです

イ：ましょう

ウ：てはいけません

エ：でしょう

答え・解説

正答：エ

ア：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。予報などに基づく推量を理由として述べる必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ましょう」は勧誘・申し出を表します。予報などに基づく推量を理由として述べる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「てはいけません」は禁止を表します。予報などに基づく推量を理由として述べる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「でしょう」が適切です。予報などに基づく推量を理由として述べる必要があります。

総合解説：「～でしょうから」で推量を前提に理由を示せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0061

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：基礎

問題：私は妹に誕生日プレゼントを【 】。

ア：あげました

イ：くれました

ウ：もらいました

エ：いただきました

答え・解説

正答：ア

ア：○「あげました」が適切です。自分から妹へ物を与えたことを表す必要があります。

イ：×「くれました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分から妹へ物を与えたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「もらいました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分から妹へ物を与えたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「いただきました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分から妹へ物を与えたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：自分側から他者へ与える場合は「あげる」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0062

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：基礎

問題：友だちが私に本を【 】。

ア：あげました

イ：くれました

ウ：もらいました

エ：さしあげました

答え・解説

正答：イ

ア：×「あげました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。友だちから自分へ物が与えられたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「くれました」が適切です。友だちから自分へ物が与えられたことを表す必要があります。

ウ：×「もらいました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。友だちから自分へ物が与えられたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「さしあげました」は「あげる」の謙譲表現で、友だちが自分に本を与える文には使いません。

総合解説：他者が自分側へ与える場合は「くれる」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0063

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：基礎

問題：私は先生から辞書を【 】。

ア：あげました

イ：くれました

ウ：もらいました

エ：くださいました

答え・解説

正答：ウ

ア：×「あげました」は自分側から相手へ与える意味で、方向が逆です。

イ：×「くれました」は与える側が主語になるため、「私は先生から～くれました」という形にはなりません。

ウ：○「私は先生から辞書をもらいました」は、自分が先生から辞書を受け取ったことを表します。

エ：×「私は先生から辞書をくださいました」は主語と授受の方向が合わず不自然です。

総合解説：受け手である「私」が主語、与え手が「先生から」なので「もらいました」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0064

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：標準

問題：私は弟の宿題を手伝って【 】。

ア：くれました

イ：もらいました

ウ：いただけませんか

エ：あげました

答え・解説

正答：エ

ア：×「くれました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分が弟のために行為をしたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「もらいました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分が弟のために行為をしたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「いただけませんか」は丁寧な依頼表現で、すでに自分が弟を手伝った過去の行為を述べる文には合いません。

エ：○「あげました」が適切です。自分が弟のために行為をしたことを表す必要があります。

総合解説：「Vてあげる」は相手のために行為をすることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0065

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：標準

問題：友だちが駅まで迎えに来て【 】。

ア：くれました

イ：あげました

ウ：もらいました

エ：いただきます

答え・解説

正答：ア

ア：○「くれました」が適切です。友だちが自分のために行為をしてくれたことを表す必要があります。

イ：×「あげました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。友だちが自分のために行為をしてくれたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「もらいました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。友だちが自分のために行為をしてくれたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「来ていただきます」はこれから相手に来てもらうような意味になり、この過去の出来事を述べる文には合いません。

総合解説：「Vてくれる」は他者から自分側への恩恵的な行為を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0066

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：標準

問題：作文に間違いが多かったので、私は先生にお願いして、作文を直して【 】。

ア：あげました

イ：もらいました

ウ：くれました

エ：もらいませんか

答え・解説

正答：イ

ア：×「あげました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。先生に依頼し、自分がその行為の恩恵を受けたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「もらいました」が適切です。先生に依頼し、自分がその行為の恩恵を受けたことを表す必要があります。

ウ：×「くれました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。先生に依頼し、自分がその行為の恩恵を受けたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「もらいませんか」は相手を誘う・提案するような形になり、過去に先生へ依頼して直してもらった文脈には合いません。

総合解説：「人にVてもらう」で、相手に行為をしてもらうことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0067

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：標準

問題：すみません、この漢字の読み方を教え【 】か。

ア：てあげません

イ：てくれました

ウ：てもらえません

エ：てもいいです

答え・解説

正答：ウ

ア：×「てあげません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。相手に丁寧に依頼する疑問文を作る必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「てくれました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。相手に丁寧に依頼する疑問文を作る必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「てもらえませんか」が適切です。相手に丁寧に依頼する疑問文を作る必要があります。

エ：×「てもいいです」は許可を表します。相手に丁寧に依頼する疑問文を作る必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vてもらえませんか」は丁寧な依頼です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0068

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：基礎

問題：ここに名前を書い【 】。

ア：てもらいました

イ：てあげます

ウ：てくれます

エ：てください

答え・解説

正答：エ

ア：×「てもらいました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。相手に直接、丁寧に行為を求める必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「てあげます」は相手のために行為をすることを表します。相手に直接、丁寧に行為を求める必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「てくれます」は他者が自分側のために行為をすることを表します。相手に直接、丁寧に行為を求める必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「てください」が適切です。相手に直接、丁寧に行為を求める必要があります。

総合解説：「Vてください」は基本的な丁寧依頼です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0069

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：応用

問題：先生、もう一度説明し【 】か。

ア：ていただけません

イ：てあげません

ウ：てくれました

エ：てもいいです

答え・解説

正答：ア

ア：○「ていただけません」が適切です。先生に対してより丁寧に依頼する必要があります。

イ：×「てあげません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。先生に対してより丁寧に依頼する必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「てくれました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。先生に対してより丁寧に依頼する必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「てもいいです」は許可を表します。先生に対してより丁寧に依頼する必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vていただけませんか」は丁寧度の高い依頼です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0070

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：応用

問題：お客様、こちらで少々【 】ください。

ア：待ってもらい

イ：お待ち

ウ：待ってあげ

エ：待ちくれ

答え・解説

正答：イ

ア：×「待ってもらい」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。客に対して尊敬を含む案内・依頼をする必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「お待ち」が適切です。客に対して尊敬を含む案内・依頼をする必要があります。

ウ：×「待ってあげ」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。客に対して尊敬を含む案内・依頼をする必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「待ちくれ」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。客に対して尊敬を含む案内・依頼をする必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「お＋ます形語幹＋ください」は尊敬を含む案内・依頼で使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0071 文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：応用

問題：先生は今、研究室に【 】。

ア：申します

イ：いただきます

ウ：いらっしゃいます

エ：おりますか

答え・解説

正答：ウ

ア：×「申します」は「言う」の謙譲語・丁寧な自己紹介表現です。先生の「いる」を尊敬語で表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「いただきます」は「もらう・食べる・飲む」の謙譲表現などです。先生の「いる」を尊敬語で表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「いらっしゃいます」が適切です。先生の「いる」を尊敬語で表す必要があります。

エ：×「おりますか」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。先生の「いる」を尊敬語で表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：目上の人の「いる」は「いらっしゃる」で表せます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0072 文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：標準

問題：はじめまして。私はリーと【 】。

ア：いらっしゃいます

イ：くださいます

ウ：召し上がります

エ：申します

答え・解説

正答：エ

ア：×「いらっしゃいます」は「いる・行く・来る」の尊敬語です。自分の名前を「言う」の謙譲表現で述べる必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「くださいます」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分の名前を「言う」の謙譲表現で述べる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「召し上がります」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。自分の名前を「言う」の謙譲表現で述べる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「申します」が適切です。自分の名前を「言う」の謙譲表現で述べる必要があります。

総合解説：自己紹介では「～と申します」が丁寧です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0073

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：応用

問題：先生から貴重な本を【 】。

ア：いただきました

イ：あげました

ウ：いらっしゃいました

エ：申しました

答え・解説

正答：ア

ア：○「いただきました」が適切です。目上の先生から物を受け取ったことを謙譲的に述べる必要があります。

イ：×「あげました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。目上の先生から物を受け取ったことを謙譲的に述べる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「いらっしゃいました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。目上の先生から物を受け取ったことを謙譲的に述べる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「申しました」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。目上の先生から物を受け取ったことを謙譲的に述べる必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「いただく」は「もらう」の謙譲語です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0074

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：標準

問題：重そうですね。荷物を持ち【 】か。

ア：たいです

イ：ましょう

ウ：でしょう

エ：ません

答え・解説

正答：イ

ア：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。相手のために自分が行為を申し出る必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「ましょう」が適切です。相手のために自分が行為を申し出る必要があります。

ウ：×「でしょう」は推量・確認などを表します。相手のために自分が行為を申し出る必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「持ちませんか」は相手を誘う意味になり、この場面で自分が荷物を持つ申し出にはなりません。

総合解説：「Vましょうか」は申し出にも使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0075

文の文法1：文法形式の判断 > 授受・待遇・依頼 | 難易度：応用

問題：窓を開け【 】か。少し暑いです。

ア：てあげません

イ：てくれました

ウ：てもらえません

エ：てくさいました

答え・解説

正答：ウ

ア：×「開けてあげませんか」は、話し手側が誰かのために開けることを提案する形になり、この依頼とは異なります。

イ：×「開けてくれましたか」は、相手がすでに開けてくれたかを確認する過去の質問になり、依頼ではありません。

ウ：○「窓を開けてもらいませんか」は、相手に窓を開ける行為を丁寧に依頼する表現です。

エ：×「開けてくさいましたか」は、相手の過去の行為を敬意を込めて確認する形で、今の依頼にはなりません。

総合解説：暑いので相手に窓を開けてもらいたい場面です。丁寧な依頼「Vてもらいませんか」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0076

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：基礎

問題：電車はバス【 】速いです。

ア：まで

イ：から

ウ：までに

エ：より

答え・解説

正答：エ

ア：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。バスを比較基準として示す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「から」は起点・理由などを示します。バスを比較基準として示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「までに」は期限を表し、比較基準を示すこの文には使えません。

エ：○「より」が適切です。バスを比較基準として示す必要があります。

総合解説：比較基準は「より」で示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0077

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：基礎

問題：日本料理の中で、私はすしが【 】好きです。

ア：いちばん

イ：ずつ

ウ：しか

エ：ほど

答え・解説

正答：ア

ア：○「いちばん」が適切です。複数の日本料理の中で最上位の好みを示す必要があります。

イ：×「ずつ」は同じ数量を各単位に配分することを表します。複数の日本料理の中で最上位の好みを示す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。複数の日本料理の中で最上位の好みを示す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「ほど」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。複数の日本料理の中で最上位の好みを示す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：三つ以上などの中で最も程度が高い場合「いちばん」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0078

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：今日は昨日【 】寒くありません。

ア：しか

イ：ほど

ウ：ずつ

エ：でも

答え・解説

正答：イ

ア：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。昨日と比べて、今日の寒さがそこまでではないことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「ほど」が適切です。昨日と比べて、今日の寒さがそこまでではないことを表す必要があります。

ウ：×「ずつ」は同じ数量を各単位に配分することを表します。昨日と比べて、今日の寒さがそこまでではないことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「でも」は例示・譲歩などを表します。昨日と比べて、今日の寒さがそこまでではないことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「AはBほど～ない」は比較でAの程度がBより低いことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0079

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：基礎

問題：駅まで十分【 】かかります。

ア：しか

イ：ずつ

ウ：くらい

エ：より

答え・解説

正答：ウ

ア：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。所要時間のおおよその量を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ずつ」は同じ数量を各単位に配分することを表します。所要時間のおおよその量を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「くらい」が適切です。所要時間のおおよその量を表す必要があります。

エ：×「より」は比較の基準を示します。所要時間のおおよその量を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「くらい／ぐらい」は概数を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0080

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：この薬を一日三回、一錠【 】飲んでください。

ア：しか

イ：ほど

ウ：より

エ：ずつ

答え・解説

正答：エ

ア：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。一回ごとに同じ数量を配分する必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ほど」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。一回ごとに同じ数量を配分する必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「より」は比較の基準を示します。一回ごとに同じ数量を配分する必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「ずつ」が適切です。一回ごとに同じ数量を配分する必要があります。

総合解説：「一錠ずつ」は各回に一錠という配分を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0081

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：財布には千円【 】ありません。

ア：しか
イ：まで
ウ：より
エ：ずつ

答え・解説

正答：ア

ア：○「しか」が適切です。千円だけでそれ以外はないという限定を否定形で表す必要があります。

イ：×「まで」は到達点・範囲の終点を示します。千円だけでそれ以外はないという限定を否定形で表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「より」は比較の基準を示します。千円だけでそれ以外はないという限定を否定形で表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「ずつ」は同じ数量を各単位に配分することを表します。千円だけでそれ以外はないという限定を否定形で表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「しか～ない」は限定を強調します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0082

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：音楽を聞き【 】、宿題をしました。

ア：前に
イ：ながら
ウ：あとで
エ：しか

答え・解説

正答：イ

ア：×「前に」は基準となる動作より先に行うことを表します。二つの動作を同時に行ったことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「ながら」が適切です。二つの動作を同時に行ったことを表す必要があります。

ウ：×「あとで」は基準となる動作の後に行うことを表します。二つの動作を同時に行ったことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。二つの動作を同時に行ったことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「Vます形語幹＋ながら」で同時進行を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0083

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：基礎

問題：寝る【 】、歯をみがきます。

ア：あとで

イ：ながら

ウ：前に

エ：ずつ

答え・解説

正答：ウ

ア：×「あとで」は基準となる動作の後に行うことを表します。歯磨きが睡眠より先に行われることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ながら」は二つの動作を同時に行うことを表します。歯磨きが睡眠より先に行われることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「前に」が適切です。歯磨きが睡眠より先に行われることを表す必要があります。

エ：×「ずつ」は同じ数量を各単位に配分することを表します。歯磨きが睡眠より先に行われることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「V辞書形＋前に」で、その動作より前の行為を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0084

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：基礎

問題：仕事が終わった【 】、友だちと食事しました。

ア：前に

イ：まで

ウ：しか

エ：あとで

答え・解説

正答：エ

ア：×「前に」は基準となる動作より先に行うことを表します。食事が仕事終了の後に行われたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「終わったまで」という接続は不自然で、仕事終了後という時点を表せません。

ウ：×「しか」は否定形と組み合わせて限定を表します。食事が仕事終了の後に行われたことを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「あとで」が適切です。食事が仕事終了の後に行われたことを表す必要があります。

総合解説：「Vた＋あとで」で後続行為を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0085

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：日曜日は掃除をし【 】、買い物に行っ【 】します。

ア：たり～たり

イ：ながら～ながら

ウ：より～ほど

エ：しか～しか

答え・解説

正答：ア

ア：○「たり～たり」が適切です。複数の代表的な行動を例として挙げる必要があります。

イ：×「ながら～ながら」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。複数の代表的な行動を例として挙げる必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「より～ほど」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。複数の代表的な行動を例として挙げる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「しか～しか」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。複数の代表的な行動を例として挙げる必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「VたりVたりする」は複数の動作を例示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0086

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：机の上に本【 】ノート【 】があります。

ア：しか～ない

イ：や～など

ウ：より～ほど

エ：ずつ～ずつ

答え・解説

正答：イ

ア：×「しか～ない」は限定して「それ以外はない」ことを表します。複数ある物の代表例を並べる必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「や～など」が適切です。複数ある物の代表例を並べる必要があります。

ウ：×「より～ほど」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。複数ある物の代表例を並べる必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「ずつ～ずつ」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。複数ある物の代表例を並べる必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「AやBなど」で代表例を挙げます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0087 文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：標準

問題：私はひらがなを読む【 】。

ア：ことがあります

イ：ようです

ウ：ことができます

エ：そうです

答え・解説

正答：ウ

ア：×「ことがあります」は時々起こることを表します。読む能力・可能を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「ようです」は様子・根拠に基づく推量、例示などを表します。読む能力・可能を表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：○「ことができます」が適切です。読む能力・可能を表す必要があります。

エ：×「そうです」は見た目の様態、または伝聞を接続形によって表します。読む能力・可能を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「V辞書形+ことができます」は可能を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0088 文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：応用

問題：この道は夜になると、車が少ない【 】。

ア：ことができます

イ：つもりです

ウ：なければなりません

エ：ことがあります

答え・解説

正答：エ

ア：×「ことができます」は能力・可能を表します。時々その状態になることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：×「つもりです」は話し手の予定・意志を表します。時々その状態になることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「なければなりません」は義務・必要を表します。時々その状態になることを表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：○「ことがあります」が適切です。時々その状態になることを表す必要があります。

総合解説：「V辞書形/ない形+ことがあります」は時々起こることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0089

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：応用

問題：外がぬれています。夜、雨が降った【 】。

ア：ようです

イ：たいです

ウ：ましょう

エ：てはいけません

答え・解説

正答：ア

ア：○「ようです」が適切です。目に見える状況を根拠に推量する必要があります。

イ：×「たいです」は話し手自身の希望を表します。目に見える状況を根拠に推量する必要があります。このため、この文には合いません。

ウ：×「ましょう」は勧誘・申し出を表します。目に見える状況を根拠に推量する必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「てはいけません」は禁止を表します。目に見える状況を根拠に推量する必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：「ようです」は根拠のある推量に使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0090

文の文法1：文法形式の判断 > 比較・数量・その他N4文型 | 難易度：応用

問題：このケーキはとてもおいし【 】。

ア：ようですか

イ：そうです

ウ：ことがあります

エ：しかありません

答え・解説

正答：イ

ア：×「ようですか」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。見た目から受ける様子を表す必要があります。このため、この文には合いません。

イ：○「そうです」が適切です。見た目から受ける様子を表す必要があります。

ウ：×「ことがあります」は時々起こることを表します。見た目から受ける様子を表す必要があります。このため、この文には合いません。

エ：×「しかありません」はこの形は別の文法的機能・意味で使われます。見た目から受ける様子を表す必要があります。このため、この文には合いません。

総合解説：イ形容詞の語幹＋「そうです」で見た目の様態を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0091

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：基礎

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【毎朝／駅まで／歩いて／行きます】

ア：駅まで毎朝行きます歩いて。

イ：歩いて駅まで毎朝行きます。

ウ：毎朝、駅まで歩いて行きます。

エ：毎朝歩いて行きます駅まで。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（時間を表す「毎朝」を前に置き、「駅まで」が移動の範囲、「歩いて」が移動方法として「行きます」に続く語順が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（時間を表す「毎朝」を前に置き、「駅まで」が移動の範囲、「歩いて」が移動方法として「行きます」に続く語順が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（時間を表す「毎朝」を前に置き、「駅まで」が移動の範囲、「歩いて」が移動方法として「行きます」に続く語順が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：時間を表す「毎朝」を前に置き、「駅まで」が移動の範囲、「歩いて」が移動方法として「行きます」に続く語順が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0092

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：基礎

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【昨日／友だちと／映画を／見ました】

ア：友だちと見ました昨日映画を。

イ：映画を昨日見ました友だちと。

ウ：昨日映画を見ましたと友だち。

エ：昨日、友だちと映画を見ました。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（時を示す語→共同者→目的語→述語の順は、日本語で自然な基本語順です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（時を示す語→共同者→目的語→述語の順は、日本語で自然な基本語順です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（時を示す語→共同者→目的語→述語の順は、日本語で自然な基本語順です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：時を示す語→共同者→目的語→述語の順は、日本語で自然な基本語順です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0093

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：基礎

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【図書館で / 日本語の / 本を / 借りました】

ア：図書館で日本語の本を借りました。

イ：日本語の図書館で本を借りました。

ウ：本を日本語の借りました図書館で。

エ：図書館で借りました日本語の本を。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「日本語の」は直後の「本」を修飾し、場所「図書館で」と目的語「本を」が述語「借りました」につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「日本語の」は直後の「本」を修飾し、場所「図書館で」と目的語「本を」が述語「借りました」につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「日本語の」は直後の「本」を修飾し、場所「図書館で」と目的語「本を」が述語「借りました」につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「日本語の」は直後の「本」を修飾し、場所「図書館で」と目的語「本を」が述語「借りました」につながります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0094

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：基礎

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【来週 / 京都へ / 旅行に / 行きます】

ア：旅行に来週行きます京都へ。

イ：来週、京都へ旅行に行きます。

ウ：京都へ行きます来週旅行に。

エ：来週旅行へ京都に行きます。

答え・解説

正答：イ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「京都へ」が方向、「旅行に」が目的を示し、「行きます」に自然につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「京都へ」が方向、「旅行に」が目的を示し、「行きます」に自然につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「京都へ」が方向、「旅行に」が目的を示し、「行きます」に自然につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「京都へ」が方向、「旅行に」が目的を示し、「行きます」に自然につながります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0095

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：標準

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【母に／誕生日の／プレゼントを／あげました】

ア：誕生日の母にプレゼントをあげました。

イ：プレゼントを母に誕生日のあげました。

ウ：母に誕生日のプレゼントをあげました。

エ：母にあげました誕生日のプレゼントを。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「誕生日の」は「プレゼント」を修飾し、受け手「母に」＋目的語＋「あげました」の形が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「誕生日の」は「プレゼント」を修飾し、受け手「母に」＋目的語＋「あげました」の形が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「誕生日の」は「プレゼント」を修飾し、受け手「母に」＋目的語＋「あげました」の形が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「誕生日の」は「プレゼント」を修飾し、受け手「母に」＋目的語＋「あげました」の形が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0096

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：標準

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【雨が／降っているので／傘を／持って行きます】

ア：雨が傘を降っているので持って行きます。

イ：傘を雨が持って行きます降っているので。

ウ：降っているので雨が、持って傘を行きます。

エ：雨が降っているので、傘を持って行きます。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（理由節「雨が降っているので」の後に、その結果としての行動「傘を持って行きます」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（理由節「雨が降っているので」の後に、その結果としての行動「傘を持って行きます」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（理由節「雨が降っているので」の後に、その結果としての行動「傘を持って行きます」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：理由節「雨が降っているので」の後に、その結果としての行動「傘を持って行きます」が続きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0097

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：標準

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【日本語を / 上手に / 話せるように / なりたいです】

ア：日本語を上手に話せるようになります。

イ：上手に日本語をなりたいです話せるように。

ウ：日本語をなりたいです上手に話せるように。

エ：話せるように日本語を上手になりたいです。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（対象「日本語を」＋様態「上手に」＋可能表現「話せる」＋変化「ようになる」の順が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（対象「日本語を」＋様態「上手に」＋可能表現「話せる」＋変化「ようになる」の順が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（対象「日本語を」＋様態「上手に」＋可能表現「話せる」＋変化「ようになる」の順が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：対象「日本語を」＋様態「上手に」＋可能表現「話せる」＋変化「ようになる」の順が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0098

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：標準

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【時間があったら / 一緒に / 昼ご飯を / 食べませんか】

ア：一緒に時間が昼ご飯をあったら食べませんか。

イ：時間があったら、一緒に昼ご飯を食べませんか。

ウ：昼ご飯を食べませんか時間が一緒にあったら。

エ：時間が一緒にあったら食べませんか昼ご飯を。

答え・解説

正答：イ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節「時間があったら」の後に、勧誘内容「一緒に昼ご飯を食べませんか」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節「時間があったら」の後に、勧誘内容「一緒に昼ご飯を食べませんか」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節「時間があったら」の後に、勧誘内容「一緒に昼ご飯を食べませんか」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：条件節「時間があったら」の後に、勧誘内容「一緒に昼ご飯を食べませんか」が続きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0099

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：標準

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【寝る前に／必ず／歯を／みがきます】

ア：必ず寝る歯を前にみがきます。

イ：歯を寝る前にみがきます必ず。

ウ：寝る前に、必ず歯をみがきます。

エ：寝る歯を必ず前にみがきます。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「寝る前に」が時を示し、副詞「必ず」が「みがきます」を修飾します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「寝る前に」が時を示し、副詞「必ず」が「みがきます」を修飾します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「寝る前に」が時を示し、副詞「必ず」が「みがきます」を修飾します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「寝る前に」が時を示し、副詞「必ず」が「みがきます」を修飾します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0100

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：標準

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【先生に／作文を／直して／もらいました】

ア：作文に先生を直してもらいました。

イ：先生を作文に直してもらいました。

ウ：直して先生に作文をもらいました。

エ：先生に作文を直してもらいました。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（行為者を「先生に」、対象を「作文を」で示し、「直してもらおう」とつなげます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（行為者を「先生に」、対象を「作文を」で示し、「直してもらおう」とつなげます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（行為者を「先生に」、対象を「作文を」で示し、「直してもらおう」とつなげます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：行為者を「先生に」、対象を「作文を」で示し、「直してもらおう」とつなげます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0101

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：応用

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【この店は / 駅から / 歩いて五分 / です】

ア：この店は駅から歩いて五分です。

イ：駅からこの店はです歩いて五分。

ウ：歩いてこの店は駅から五分です。

エ：この店は歩いて駅からです五分。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文で必要な関係（話題「この店は」に対して、起点「駅から」＋移動方法「歩いて」＋所要時間「五分です」と説明します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文で必要な関係（話題「この店は」に対して、起点「駅から」＋移動方法「歩いて」＋所要時間「五分です」と説明します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文で必要な関係（話題「この店は」に対して、起点「駅から」＋移動方法「歩いて」＋所要時間「五分です」と説明します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：話題「この店は」に対して、起点「駅から」＋移動方法「歩いて」＋所要時間「五分です」と説明します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0102

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：応用

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【私は / 兄より / 背が / 低いです】

ア：兄より私は低いです背が。

イ：私は兄より背が低いです。

ウ：私は背より兄が低いです。

エ：背が私は兄低いですより。

答え・解説

正答：イ

ア：× この語順では、正しい文で必要な関係（比較基準は「兄より」、比較される性質は「背が低い」とまとめます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

ウ：× この語順では、正しい文で必要な関係（比較基準は「兄より」、比較される性質は「背が低い」とまとめます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文で必要な関係（比較基準は「兄より」、比較される性質は「背が低い」とまとめます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：比較基準は「兄より」、比較される性質は「背が低い」とまとめます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0103

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：応用

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【宿題が／終わってから／テレビを／見ます】

ア：テレビが終わってから宿題を見ます。

イ：宿題がテレビを見ます終わってから。

ウ：宿題が終わってから、テレビを見ます。

エ：終わって宿題がテレビをから見ます。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（先行動作「宿題が終わる」＋「てから」の後に、後続動作「テレビを見る」を置きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（先行動作「宿題が終わる」＋「てから」の後に、後続動作「テレビを見る」を置きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（先行動作「宿題が終わる」＋「てから」の後に、後続動作「テレビを見る」を置きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：先行動作「宿題が終わる」＋「てから」の後に、後続動作「テレビを見る」を置きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0104

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：応用

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【日曜日は／掃除をしたり／買い物に行ったり／します】

ア：掃除を日曜日はしたりします買い物に行ったり。

イ：日曜日は買い物に掃除を行ったりしたりします。

ウ：したり日曜日は掃除を買い物に行ったりします。

エ：日曜日は掃除をしたり、買い物に行ったりします。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「Vたり、Vたりします」の形で、休日の代表的な行動を並べます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「Vたり、Vたりします」の形で、休日の代表的な行動を並べます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「Vたり、Vたりします」の形で、休日の代表的な行動を並べます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：「Vたり、Vたりします」の形で、休日の代表的な行動を並べます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0105

文の文法2：文の組み立て > 語順・文型 | 難易度：応用

問題：次の語をすべて使って、最も自然な文になるものを選んでください。

【病気にならないように / 毎日 / 野菜を / 食べています】

ア：病気にならないように、毎日野菜を食べています。

イ：毎日病気をならないように野菜が食べています。

ウ：野菜を病気にならない毎日ように食べています。

エ：病気に野菜をならないように毎日食べています。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（目的・目標を示す「病気にならないように」を先に置き、日常の行動を後に続けると自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（目的・目標を示す「病気にならないように」を先に置き、日常の行動を後に続けると自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（目的・目標を示す「病気にならないように」を先に置き、日常の行動を後に続けると自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：目的・目標を示す「病気にならないように」を先に置き、日常の行動を後に続けると自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0106

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：基礎

問題：「昨日買った本」を修飾する文として、最も自然なものはどれですか。

ア：昨日を買った本は、もう読みました。

イ：昨日買った本を、もう読みました。

ウ：昨日買ったを本、もう読みました。

エ：買った昨日の本を、もう読みました。

答え・解説

正答：イ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「昨日買った」が名詞「本」を前から修飾し、「本を読みました」と続く構造が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「昨日買った」が名詞「本」を前から修飾し、「本を読みました」と続く構造が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「昨日買った」が名詞「本」を前から修飾し、「本を読みました」と続く構造が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「昨日買った」が名詞「本」を前から修飾し、「本を読みました」と続く構造が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0107

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：基礎

問題：「あそこに立っている人」を説明する文として、最も自然なものはどれですか。

ア：あそこに人は立っている私の先生です。

イ：立っているあそこに人は私の先生です。

ウ：あそこに立っている人は私の先生です。

エ：あそこに立って人いるは私の先生です。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「あそこに立っている」という節全体が「人」を修飾しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「あそこに立っている」という節全体が「人」を修飾しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「あそこに立っている」という節全体が「人」を修飾しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「あそこに立っている」という節全体が「人」を修飾しています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0108

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：基礎

問題：母が作った料理について述べる文として、最も自然なものはどれですか。

ア：母を作った料理はとてもおいしかったです。

イ：母が料理を作ったはとてもおいしかったです。

ウ：作った母が料理はとてもおいしかったです。

エ：母が作った料理はとてもおいしかったです。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（連体修飾節の中では「母が作った」が「料理」を修飾します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（連体修飾節の中では「母が作った」が「料理」を修飾します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（連体修飾節の中では「母が作った」が「料理」を修飾します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：連体修飾節の中では「母が作った」が「料理」を修飾します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0109

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：基礎

問題：駅の近くにある店で食事したことを表す文として、最も自然なものはどれですか。

ア：駅の近くにある店で昼ご飯を食べました。

イ：駅の近くがある店で昼ご飯を食べました。

ウ：駅に近くある店を昼ご飯で食べました。

エ：ある駅の近く店で昼ご飯を食べました。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「駅の近くにある」が「店」を修飾し、その店が食事をした場所になります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「駅の近くにある」が「店」を修飾し、その店が食事をした場所になります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「駅の近くにある」が「店」を修飾し、その店が食事をした場所になります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「駅の近くにある」が「店」を修飾し、その店が食事をした場所になります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0110

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：標準

問題：日本へ行く前にしたことを述べる文として、最も自然なものはどれですか。

ア：日本へ前に行く、日本語を少し勉強しました。

イ：日本へ行く前に、日本語を少し勉強しました。

ウ：日本語へ行く前に、日本を少し勉強しました。

エ：前に日本へ行くを、日本語を少し勉強しました。

答え・解説

正答：イ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「日本へ行く」が「前」を内容的に修飾し、「行く前に」の形で時を示します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「日本へ行く」が「前」を内容的に修飾し、「行く前に」の形で時を示します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「日本へ行く」が「前」を内容的に修飾し、「行く前に」の形で時を示します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「日本へ行く」が「前」を内容的に修飾し、「行く前に」の形で時を示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0111 文の文法2：文の組み立て＞複文・修飾関係 | 難易度：標準

問題：雨と試合中止の理由関係を表す文として、最も自然なものはどれですか。
ア：雨を降っていたので、試合が中止になりました。
イ：試合が雨を降っていたので、中止になりました。
ウ：雨が降っていたので、試合は中止になりました。
エ：降っていた雨ので、試合は中止にしました。

答え・解説

正答：ウ
ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（理由節「雨が降っていたので」と結果節「試合は中止になりました」の関係が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。
イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（理由節「雨が降っていたので」と結果節「試合は中止になりました」の関係が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。
ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。
エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（理由節「雨が降っていたので」と結果節「試合は中止になりました」の関係が自然です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。
総合解説：理由節「雨が降っていたので」と結果節「試合は中止になりました」の関係が自然です。
対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0112 文の文法2：文の組み立て＞複文・修飾関係 | 難易度：標準

問題：時間がある場合の行動を表す文として、最も自然なものはどれですか。
ア：時間をあれば、駅まで迎えに行きます。
イ：駅まで時間があれば、迎えに行きます。
ウ：あれば時間を、駅まで迎えに行きます。
エ：時間があれば、駅まで迎えに行きます。

答え・解説

正答：エ
ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節「時間があれば」の後に、条件成立時の行動「迎えに行きます」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。
イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節「時間があれば」の後に、条件成立時の行動「迎えに行きます」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。
ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節「時間があれば」の後に、条件成立時の行動「迎えに行きます」が続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。
エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。
総合解説：条件節「時間があれば」の後に、条件成立時の行動「迎えに行きます」が続きます。
対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0113 文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：標準

問題：自分が住んでいる町について述べる文として、最も自然なものはどれですか。

ア：私が住んでいる町には大きな公園があります。

イ：私を住んでいる町には大きな公園があります。

ウ：私が町に住んでいるは大きな公園があります。

エ：住んでいる私が町には大きな公園があります。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「私が住んでいる」が名詞「町」を修飾し、その町を「には」で話題・場所として示します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「私が住んでいる」が名詞「町」を修飾し、その町を「には」で話題・場所として示します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「私が住んでいる」が名詞「町」を修飾し、その町を「には」で話題・場所として示します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「私が住んでいる」が名詞「町」を修飾し、その町を「には」で話題・場所として示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0114 文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：標準

問題：友だちにもらった時計について述べる文として、最も自然なものはどれですか。

ア：友だちにもらった時計を毎日使っています。

イ：友だちにもらった時計を毎日使っています。

ウ：友だちにもらったを時計、毎日使っています。

エ：もらった友だちに時計を毎日使っています。

答え・解説

正答：イ

ア：× 「友だちにもらった」では、友だちそのものを受け取った意味になり、意図した授受関係になりません。

イ：○ 「友だちにもらった」が名詞「時計」を修飾し、その時計を「毎日使っています」と述べる自然な文です。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「友だちにもらった」という連体修飾節が、直後の名詞「時計」を修飾する構造です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「友だちにもらった」という連体修飾節が、直後の名詞「時計」を修飾する構造です。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「友だちにもらった」という連体修飾節が、直後の名詞「時計」を修飾する構造です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0115

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：標準

問題：分からない言葉があった場合の行動を表す文として、最も自然なものはどれですか。

ア：分からない言葉をあったら、辞書が調べてください。

イ：言葉が分からないをあったら、辞書で調べてください。

ウ：分からない言葉があったら、辞書で調べてください。

エ：辞書で分からない言葉があったら、調べがください。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節の主語は「分からない言葉が」で、後件は手段「辞書で」＋「調べてください」となります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節の主語は「分からない言葉が」で、後件は手段「辞書で」＋「調べてください」となります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（条件節の主語は「分からない言葉が」で、後件は手段「辞書で」＋「調べてください」となります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：条件節の主語は「分からない言葉が」で、後件は手段「辞書で」＋「調べてください」となります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0116

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：応用

問題：父が子どものころ住んでいた家について述べる文として、最も自然なものはどれですか。

ア：父を子どものころ住んでいた家が見に行きました。

イ：子どものころ父が家を住んでいた見に行きました。

ウ：父が住んでいた子どものころを家に見に行きました。

エ：父が子どものころ住んでいた家を見に行きました。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「父が子どものころ住んでいた」という長い修飾節が「家」を修飾しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「父が子どものころ住んでいた」という長い修飾節が「家」を修飾しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「父が子どものころ住んでいた」という長い修飾節が「家」を修飾しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：「父が子どものころ住んでいた」という長い修飾節が「家」を修飾しています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0117 文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：応用

問題：日本語を上手に話すという目標と練習を結ぶ文として、最も自然なものはどれですか。

ア：日本語が上手に話せるように、毎日練習しています。

イ：日本語を上手に話せるように、毎日が練習しています。

ウ：毎日日本語が上手に、話せる練習をようにしています。

エ：話せる日本語が上手にように、毎日練習しています。

答え・解説

正答：ア

ア：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（目標を示す「日本語が上手に話せるように」と、そのための行動「毎日練習しています」が自然につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（目標を示す「日本語が上手に話せるように」と、そのための行動「毎日練習しています」が自然につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（目標を示す「日本語が上手に話せるように」と、そのための行動「毎日練習しています」が自然につながります。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：目標を示す「日本語が上手に話せるように」と、そのための行動「毎日練習しています」が自然につながります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0118 文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：応用

問題：駅に着いた時点と電車の状態を表す文として、最も自然なものはどれですか。

ア：駅を着いたとき、電車がもう出ていました。

イ：駅に着いたとき、電車はもう出ていました。

ウ：電車に着いたとき、駅はもう出ていました。

エ：着いた駅にとき、もう電車を出ていました。

答え・解説

正答：イ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「駅に着いたとき」が基準時点を示し、その時点ですでに成立していた状態を「出ていました」で表します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「駅に着いたとき」が基準時点を示し、その時点ですでに成立していた状態を「出ていました」で表します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「駅に着いたとき」が基準時点を示し、その時点ですでに成立していた状態を「出ていました」で表します。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「駅に着いたとき」が基準時点を示し、その時点ですでに成立していた状態を「出ていました」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0119

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：応用

問題：先生に教えてもらった方法と勉強結果を結ぶ文として、最も自然なものはどれですか。

ア：先生を教えてくれた方法に勉強したら、よく分かりました。

イ：教えてくれた先生が方法を勉強したら、よく分かりました。

ウ：先生が教えてくれた方法で勉強したら、よく分かりました。

エ：先生が方法で教えてくれたを勉強したら、よく分かりました。

答え・解説

正答：ウ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「先生が教えてくれた」が「方法」を修飾し、その方法を手段として「方法で勉強する」と続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「先生が教えてくれた」が「方法」を修飾し、その方法を手段として「方法で勉強する」と続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

エ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「先生が教えてくれた」が「方法」を修飾し、その方法を手段として「方法で勉強する」と続きます。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

総合解説：「先生が教えてくれた」が「方法」を修飾し、その方法を手段として「方法で勉強する」と続きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0120

文の文法2：文の組み立て > 複文・修飾関係 | 難易度：応用

問題：来週行く予定の美術館について述べる文として、最も自然なものはどれですか。

ア：来週に行く予定の美術館は月曜日に休みです。

イ：美術館が来週行く予定は月曜日の休みです。

ウ：予定の来週行くを美術館は月曜日が休みです。

エ：来週行く予定の美術館は月曜日が休みです。

答え・解説

正答：エ

ア：× この語順では、正しい文に必要な関係（「来週行く予定の」が「美術館」を修飾し、その美術館について休館日を説明しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

イ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「来週行く予定の」が「美術館」を修飾し、その美術館について休館日を説明しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

ウ：× この語順では、正しい文に必要な関係（「来週行く予定の」が「美術館」を修飾し、その美術館について休館日を説明しています。）が崩れ、助詞・修飾語・述語が自然につながりません。

エ：○ 文法的に正しく、語のつながりと意味も自然です。

総合解説：「来週行く予定の」が「美術館」を修飾し、その美術館について休館日を説明しています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0121

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

今日は朝から雨が降っていました。【 】、駅まで歩かず、バスで行きました。

ア：そのため

イ：しかし

ウ：それから

エ：たとえば

答え・解説

正答：ア

ア：○ 前文の「雨が降っていた」が、後文の「バスで行った」理由になっているため、「そのため」が適切です。

イ：× 「しかし」は逆接を表します。ここでは前後が反対の内容ではありません。

ウ：× 「それから」は時間的な順序を表しますが、ここでは原因と結果の関係を示す必要があります。

エ：× 「たとえば」は具体例を挙げる表現で、理由と結果をつなぐことはできません。

総合解説：前文が原因、後文がその結果になっている文章なので、因果関係を表す「そのため」が最も自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0122

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

この店の料理は少し高いです。【 】、とてもおいしいので、いつも客がたくさんいます。

ア：だから

イ：しかし

ウ：それで

エ：まず

答え・解説

正答：イ

ア：× 「だから」は原因から結果を示しますが、「高いからおいしい」という関係ではありません。

イ：○ 値段が高いというマイナスの内容に対して、後ろで「とてもおいしい」と反対方向の内容を述べているため「しかし」が適切です。

ウ：× 「それで」も原因・結果をつなぐ表現で、この対比関係には合いません。

エ：× 「まず」は順序の最初を示す表現で、対比を示せません。

総合解説：前後に対立・逆方向の内容があるので、逆接の「しかし」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0123

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

旅行の準備をしました。最初に服をかばんに入れました。【 】、パスポートと財布を確認しました。

ア：だから

イ：でも

ウ：それから

エ：つまり

答え・解説

正答：ウ

ア：× 「だから」は理由・結果を示しますが、ここでは二つの行動を順番に述べています。

イ：× 「でも」は逆接・話題転換などを表しますが、前後に対立はありません。

ウ：○ 「服を入れる」→「パスポートと財布を確認する」という行動の順序を示すため「それから」が適切です。

エ：× 「つまり」は言い換え・要約を示しますが、後文は前文の言い換えではありません。

総合解説：時間的・行動上の順序をつなぐ文章なので「それから」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0124

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

日本では春になるといろいろな花が咲きます。【 】、桜は多くの人に親しまれています。

ア：それなのに

イ：そのため

ウ：それから

エ：たとえば

答え・解説

正答：エ

ア：× 「それなのに」は予想に反する内容をつなぐ表現で、この文章には対立がありません。

イ：× 「そのため」は原因と結果を示しますが、桜が親しまれていることは前文の直接の結果ではありません。

ウ：× 「それから」は出来事の順序を示しますが、ここでは具体例を挙げています。

エ：○ 前文の「いろいろな花」の具体例として「桜」を挙げているため、「たとえば」が適切です。

総合解説：一般的な内容の後に具体例を示しているため、「たとえば」が最も自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0125

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

明日は大切な試験があります。【 】、今日は早く寝るつもりです。

- ア：ですから
- イ：ところが
- ウ：または
- エ：ところで

答え・解説

正答：ア

ア：○ 大切な試験があることを理由として、早く寝るという判断を述べているため「ですから」が適切です。

イ：× 「ところが」は予想に反する結果を示しますが、ここでは自然な原因・結果の関係です。

ウ：× 「または」は二つ以上の選択肢を並べる表現で、文と文の因果関係には使えません。

エ：× 「ところで」は話題を変えるときなどに使い、この文章の理由関係を切ってしまいます。

総合解説：試験がある→早く寝る、という理由と判断の関係なので「ですから」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0126

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

田中さんは英語が話せます。【 】、中国語も少し話せます。

- ア：それでも
- イ：それに
- ウ：そこで
- エ：すると

答え・解説

正答：イ

ア：× 「それでも」は前の内容から予想されることに反する結果を表します。

イ：○ 英語が話せることに加えて、中国語も話せるという追加情報なので「それに」が適切です。

ウ：× 「そこで」は前の状況を受けて行動を起こす場合などに使います。

エ：× 「すると」は前の行動の後に起きた出来事などを示しますが、単純な追加には合いません。

総合解説：同じ人について情報を追加しているので、添加を表す「それに」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0127

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

駅に着いたとき、電車はもう出たあとでした。【 】、次の電車を待つことにしました。

- ア：それに
イ：たとえば
ウ：そこで
エ：ところが

答え・解説

正答：ウ

ア：× 「それに」は情報を追加する表現で、状況を受けた対応を示しません。

イ：× 「たとえば」は例示を表し、後文の行動を導けません。

ウ：○ 電車に乗れなかったという状況を受けて、次の電車を待つという対応をしたため「そこで」が適切です。

エ：× 「ところが」は逆接を表しますが、後文は前の状況に対する自然な対応です。

総合解説：前の状況を受け、その場で取った行動を述べるとき「そこで」が使えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0128

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

この図書館では本を借りることができます。【 】、DVDも借りることができます。

- ア：だから
イ：ところが
ウ：つまり
エ：また

答え・解説

正答：エ

ア：× 「だから」は原因と結果を示しますが、本を借りられることがDVDを借りられる原因ではありません。

イ：× 「ところが」は予想外・逆接を表し、単純な追加には合いません。

ウ：× 「つまり」は前文をまとめたり言い換えたりする表現ですが、後文は別の追加情報です。

エ：○ 本だけでなくDVDも借りられるという追加情報なので、「また」が適切です。

総合解説：同じ施設について同種の情報を追加しているので「また」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0129

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：基礎

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

毎日三十分歩くようにしました。【 】、前より体の調子がよくなりました。

- ア：すると
- イ：または
- ウ：ところで
- エ：たとえば

答え・解説

正答：ア

ア：○ 歩く習慣を始めた後、その結果として体調がよくなったという変化を表すため「すると」が適切です。

イ：× 「または」は選択肢を並べる表現です。

ウ：× 「ところで」は話題を変える表現で、前後の結果関係を切ってしまいます。

エ：× 「たとえば」は具体例を示す表現で、結果を導くことはできません。

総合解説：ある行動の後に起きた結果・変化を述べる流れなので「すると」が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0130

文章の文法 > 接続表現 | 難易度：標準

問題：次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

来週の日曜日にみんなで公園へ行く予定です。【 】、雨の場合は中止します。

- ア：ですから
- イ：ただし
- ウ：それから
- エ：つまり

答え・解説

正答：イ

ア：× 「ですから」は原因から結果を示しますが、後文は結果ではなく条件です。

イ：○ 前文の予定に対して「雨の場合」という条件・例外を付け加えるため「ただし」が適切です。

ウ：× 「それから」は時間的な順序を示します。

エ：× 「つまり」は要約・言い換えを示しますが、後文は条件の追加です。

総合解説：基本の予定に条件・例外を付ける文章なので「ただし」が最も自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0131

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「それ」が何を指しているか選んでください。

私は昨日、新しい自転車を買いました。それは青くて、とても軽いです。

ア：昨日という日

イ：青い色

ウ：昨日買った新しい自転車

エ：自転車を買った店

答え・解説

正答：ウ

ア：× 「それ」は物について「青くて軽い」と説明しているため、「昨日」という時間は指しません。

イ：× 「青い」は「それ」の性質として後から説明されている内容であり、指示対象そのものではありません。

ウ：○ 「それ」は直前に出てきた「新しい自転車」を指しています。

エ：× 店については文章中に情報がなく、「それ」が店を指す根拠はありません。

総合解説：指示語は、後ろの述語「青くて、とても軽いです」と意味的につながる名詞を確認すると判断できます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0132

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「そこ」が何を指しているか選んでください。

家の近くに新しい図書館ができました。そこには日本語の本もたくさんあります。

ア：私の家

イ：日本語の本

ウ：家の近くの道

エ：新しい図書館

答え・解説

正答：エ

ア：× 家について本がたくさんあるとは述べていません。

イ：× 「本」は場所ではないため、場所を指す「そこ」の対象にはなりません。

ウ：× 道については「本がある」という内容につながりません。

エ：○ 「そこには本がある」と言える場所は、直前の「新しい図書館」です。

総合解説：場所を指す「そこ」は、直前に提示された場所「新しい図書館」を受けています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0133 文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「このこと」が何を指しているか選んでください。

来月から会社の仕事が九時ではなく八時に始まります。このことを家族にも伝えました。

ア：来月から仕事の開始時刻が八時になること

イ：家族に話したこと

ウ：会社を辞めること

エ：毎朝八時に家を出ること

答え・解説

正答：ア

ア：○「このこと」は直前の文全体、つまり仕事の開始時刻が変わることを指しています。

イ：× 家族に伝えたことは「このこと」を受けて行った後の行動で、指示対象ではありません。

ウ：× 会社を辞めるとは書かれていません。

エ：× 家を出る時刻については文章中に書かれていません。

総合解説：「このこと」のような表現は、直前の名詞一語ではなく、前の文全体の内容を指すことがあります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0134 文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「その人」が誰を指しているか選んでください。

駅で道を聞いたら、一人の女性が親切に教えてくれました。その人は駅の近くで働いているそうです。

ア：駅員

イ：道を教えてくれた女性

ウ：話している私

エ：駅の近くにいたすべての人

答え・解説

正答：イ

ア：× 女性が駅員だとは書かれていません。

イ：○「その人」は直前に登場した「一人の女性」を指します。

ウ：×「その人」は話し手自身ではなく、直前に話題になった第三者を指します。

エ：× 一人の特定人物を指しており、複数の人全体ではありません。

総合解説：「その＋名詞」は、すでに文章中で出た人物・物を受けることがあります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0135

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「これ」が何を指しているか選んでください。

日本では、家に入る前に靴を脱ぐことがあります。これを知らなかった友だちは、靴のまま部屋に入りそうになりました。

ア：日本へ行くこと

イ：友だちが部屋に入ったこと

ウ：家に入る前に靴を脱ぐこと

エ：靴を買うこと

答え・解説

正答：ウ

ア：× 日本へ行くこと自体についての説明ではありません。

イ：× 友だちが部屋に入りそうになったことは「これ」の後に述べられる出来事です。

ウ：○ 「これ」は前文で説明された「家に入る前に靴を脱ぐ」という習慣を指します。

エ：× 靴を買うことは文章中に出ていません。

総合解説：「これ」は直前の文で示された行為・習慣の内容全体を受けています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0136

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「その日」がいつを指しているか選んでください。

来週の金曜日に日本語の試験があります。その日はアルバイトを休むことにしました。

ア：今日

イ：来週の土曜日

ウ：アルバイトを始めた日

エ：来週の金曜日

答え・解説

正答：エ

ア：× 「今日」は試験日として示されていません。

イ：× 試験は金曜日であり、土曜日ではありません。

ウ：× アルバイトを始めた日は文章中に出ていません。

エ：○ 「その日」は直前に示された具体的な日「来週の金曜日」を指します。

総合解説：時間を指す「その日」は、直前に提示された日付・曜日を受けます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0137

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「そうしました」の内容として最も適切なものを選んでください。

先生に「毎日、声に出して日本語を読んだほうがいいですよ」と言われました。それで、私もそうしました。

ア：毎日、声に出して日本語を読みました

イ：先生に日本語を読んでもらいました

ウ：日本語の勉強をやめました

エ：毎日先生に電話しました

答え・解説

正答：ア

ア：○「そうしました」は、先生から勧められた行動を実際に行ったことを表します。

イ：× 先生に読んでもらうという内容は勧められていません。

ウ：× 勉強をやめることは、先生の助言と反対です。

エ：× 電話することについては何も述べられていません。

総合解説：「そうする」は、前に述べられた方法・行動を繰り返して指す表現です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0138

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「その理由」が何を指しているか選んでください。

私は最近、朝早く起きるようになりました。その理由は、仕事の前に運動したいからです。

ア：仕事を辞めた理由

イ：最近、朝早く起きるようになった理由

ウ：運動が嫌いな理由

エ：朝ご飯を食べない理由

答え・解説

正答：イ

ア：× 仕事を辞めたとは書かれていません。

イ：○「その理由」は、直前の「朝早く起きるようになった」という変化の理由を指します。

ウ：× むしろ運動したいと述べており、運動が嫌いとは言えません。

エ：× 朝ご飯についての情報はありません。

総合解説：「その理由」は、直前に述べた出来事・判断の理由を後から説明するときに使われます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0139

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「この二つ」が何を指しているか選んでください。

旅行にはパスポートと航空券を必ず持って行ってください。この二つは出発する前にもう一度確認しましょう。

ア：旅行と出発

イ：航空券と旅行かばん

ウ：パスポートと航空券

エ：パスポートと旅行先

答え・解説

正答：ウ

ア：× 「旅行」と「出発」は持ち物ではなく、確認対象として前文に並べられていません。

イ：× 旅行かばんは前文に出ていません。

ウ：○ 「この二つ」は直前に並べられた二項目「パスポート」と「航空券」を指します。

エ：× 旅行先も前文で確認対象として挙げられていません。

総合解説：数量を含む指示表現は、直前に列举された同数の対象を受けることが多いです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0140

文章の文法 > 指示・照応 | 難易度：標準

問題：次の文章を読んで、「そのあと」がいつを指しているか選んでください。

午前中は部屋を掃除しました。昼ご飯を食べて、そのあと買い物に出かけました。

ア：部屋を掃除する前

イ：買い物が終わったあと

ウ：午前中が始まる前

エ：昼ご飯を食べたあと

答え・解説

正答：エ

ア：× 掃除の前では、文章の時間順序と逆になります。

イ：× 買い物は「そのあと」に行う行動なので、買い物終了後ではありません。

ウ：× 午前中が始まる前という情報は文章にありません。

エ：○ 文の順序から、「そのあと」は直前の「昼ご飯を食べた」後を指します。

総合解説：「そのあと」は、通常、直前に述べた出来事の後の時点を受けます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0141

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：標準

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

私は毎朝、駅まで自転車でいきます。駅には自転車を置く場所があります。【 】。そこから電車に乗って会社へ行きます。

ア：自転車をそこに置いてから、駅に入ります

イ：会社から自転車で家へ帰ります

ウ：電車は夜になると少なくなります

エ：休日は家で本を読むことが多いです

答え・解説

正答：ア

ア：○ 前文の「自転車を置く場所」と後文の「そこから電車に乗る」を自然につなぐ行動です。

イ：× 帰宅時の行動になっており、朝の通勤の流れが逆になります。

ウ：× 電車の本数の話は、現在説明している通勤手順から外れます。

エ：× 休日の過ごし方は朝の通勤についての文章と話題が異なります。

総合解説：文章全体は「家から会社までの朝の移動」を順番に説明しているため、その手順を続ける文が必要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0142

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：標準

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

昨日は友だちと山へ行く予定でした。しかし、朝から強い雨が降っていました。【 】。午後は家で映画を見ました。

ア：それでも山はとても高いです

イ：そのため、山へ行くのをやめました

ウ：友だちは毎日会社へ行きます

エ：来週は月曜日から仕事です

答え・解説

正答：イ

ア：× 山の高さは、雨によって予定がどうなったかを説明しません。

イ：○ 雨のため予定を中止し、その後家で映画を見たという流れが自然につながります。

ウ：× 友だちの普段の仕事は、この日の予定変更とは関係ありません。

エ：× 来週の仕事は、昨日の行動の流れから話題が外れます。

総合解説：「山へ行く予定→強い雨→予定を中止→家で映画」という因果と時間の流れを完成させる文を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0143

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：標準

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

私は料理があまり得意ではありません。そこで、先月から料理教室に通っています。【 】。今では簡単な料理なら一人で作れるようになりました。

ア：料理教室は駅から遠い色をしています

イ：私は子どものころ犬を飼っていました

ウ：先生に基本から教えてもらい、毎週練習しています

エ：来年は新しいパソコンを買いたいです

答え・解説

正答：ウ

ア：× 「遠い色」という表現自体が不自然で、料理能力の変化にもつながりません。

イ：× 犬を飼っていた話は料理学習と無関係です。

ウ：○ 料理教室で学び練習したことが、後文の「作れるようになった」という能力向上につながります。

エ：× パソコン購入の希望は料理の上達という話題から外れます。

総合解説：苦手→教室に通う→学習・練習→できるようになる、という一貫した変化の流れです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0144

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：標準

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

来週、大学の友だちが私の町に遊びに来ます。友だちはこの町が初めてです。【 】。そのあと、町で有名なレストランへ行く予定です。

ア：友だちは昨日もう国へ帰りました

イ：私は毎朝六時に起きています

ウ：レストランでは本を借りることができます

エ：まず、駅の近くにある古いお寺を案内するつもりです

答え・解説

正答：エ

ア：× 来週来る予定なのに、昨日帰国したという内容は時間関係が矛盾します。

イ：× 話し手の起床時刻は友だちの観光予定と関係ありません。

ウ：× レストランで本を借りるという情報は不自然で、観光予定の流れにも合いません。

エ：○ 初めて来る友だちを町で案内し、その後レストランへ行くという予定の順序が自然です。

総合解説：「友だちの町での予定」を順番に説明している文章です。「そのあと」とつながる先行予定が必要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0145

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：応用

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

このスーパーは家から少し遠いです。【 】。だから、私は週末によくここへ買い物に来ます。
ア：でも、野菜が新鮮で、値段も安いです
イ：そして家からさらに遠くなりました
ウ：私はスーパーで働いたことはありません
エ：昨日は雨が一時間降りました

答え・解説

正答：ア

ア：○「遠い」という不便さに対して、商品がよく安いという利点を述べることで、後文の「よく来る」理由になります。

イ：× さらに遠くなっただけでは、よく買い物に来る理由になりません。

ウ：× 働いた経験の有無は、この店を選ぶ理由とは関係ありません。

エ：× 昨日の天気はスーパーの利用理由につながりません。

総合解説：不便な点を示した後、それを上回る利点を述べ、利用する理由へつなぐ文章構成です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0146

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：応用

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

私は日本語の漢字を覚えるのが苦手でした。先生に「毎日少しずつ書いて練習するといいですよ」と言われました。【 】。最近は前より多くの漢字が書けるようになりました。
ア：それから、漢字の勉強を全部やめました
イ：それから、毎日十個ずつ漢字を書くことにしました
ウ：そのため、先生は日本へ旅行しました
エ：しかし、私の家には大きな庭があります

答え・解説

正答：イ

ア：× 助言のあと勉強をやめたなら、後文の上達につながりにくく、流れが矛盾します。

イ：○ 先生の助言を実行したことが、後文の漢字力向上につながっています。

ウ：× 先生の旅行は、話し手の漢字学習の変化と関係ありません。

エ：× 家の庭の話は漢字学習という話題から外れます。

総合解説：苦手→助言→練習開始→上達、という学習過程を自然につなぐ文が必要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0147

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：応用

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

駅前に新しいパン屋ができました。朝七時から開いているので、仕事に行く前にも買えます。【 】。
私も今度、朝ご飯を買ってみたいです。
ア：その店は夜になると駅になります
イ：私は昨日電車で三時間寝ました
ウ：近所の人にも人気があるそうです
エ：仕事はいつも午後五時に終わります

答え・解説

正答：ウ

ア：× パン屋が駅になるという内容は意味的に不自然です。

イ：× 電車で寝た話はパン屋についての段落から外れます。

ウ：○ パン屋についての情報を追加し、最後の「私も買ってみたい」という評価・意欲につながります。

エ：× 仕事の終了時刻は、朝にパンを買えるという中心話題と直接つながりません。

総合解説：段落の中心は「新しいパン屋の特徴と評判」です。その話題を維持する文が適切です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0148

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：応用

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

今日は市役所へ行かなければなりません。手続きには身分証明書が必要だと聞きました。【 】。忘れると手続きができないからです。
ア：市役所の建物は十年前にできました
イ：身分証明書は昨日友だちに貸す予定でしたが、話は終わりました
ウ：帰ったあとに必要な書類を初めて調べます
エ：出かける前に、かばんに入っているかももう一度確認します

答え・解説

正答：エ

ア：× 建物ができた時期は、必要書類を忘れないという話題と関係ありません。

イ：× 文意が不自然で、手続きに必要な物を準備する流れを作れません。

ウ：× 手続き後に初めて書類を調べるのでは遅く、後文の「忘れるとできない」と矛盾します。

エ：○ 必要な身分証明書を忘れないため確認する行動で、後文の理由とも自然につながります。

総合解説：必要書類を知る→出発前に確認する→忘れると手続きできない、という準備の流れです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0149

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：応用

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

田中さんは毎朝ジョギングをしています。雨の日は外を走れません。【 】。このように、天気に合わせて運動の方法を変えています。

ア：そんな日は、家でストレッチをするそうです

イ：雨の日は朝が夜になります

ウ：田中さんの家には本が百冊あります

エ：去年、新しい靴を買わない人もいました

答え・解説

正答：ア

ア：○ 雨の日には別の運動をするという内容で、後文の「天気に合わせて方法を変える」を具体的に説明します。

イ：× 朝が夜になるという内容は意味的に成立しません。

ウ：× 本の冊数は運動方法と関係ありません。

エ：× 誰かが靴を買わなかった話は田中さんの運動習慣から外れます。

総合解説：最後の「このように」が前の具体例をまとめるため、雨の日の代替運動を述べる文が必要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27

0150

文章の文法 > 文章の流れ | 難易度：応用

問題：次の文章の【 】に入る最も適切な文を選んでください。

私の町では、ごみを出す曜日が種類によって違います。燃えるごみは月曜日と木曜日です。びんや缶は水曜日です。【 】。ですから、ごみを出す前に曜日を確認することが大切です。

ア：ごみの日になると町の名前が変わります

イ：決められた曜日以外には出すことができません

ウ：私は水曜日に学校で日本語を勉強します

エ：月曜日は一年に一度しかありません

答え・解説

正答：イ

ア：× 町の名前が変わるという内容のごみ出しルールと関係なく、意味も不自然です。

イ：○ ごみを出せる曜日にルールがあることを補足し、後文の「曜日を確認することが大切」という結論につながります。

ウ：× 個人の学習予定は、ごみ出しルールの説明から外れます。

エ：× 月曜日は毎週あり、事実としても誤っており、文章の流れにも合いません。

総合解説：種類別の曜日→曜日以外は出せない→だから確認が必要、という説明から結論への流れです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-27